

令和6年度(7年産)ビール大麦等生育概況②

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室

調査日：令和7(2025)年2月20日

(調査基準日2月20日)

- 本年産のニューサチホゴールデンの茎立期(11月8日播種)は、**今後気温が平年並に推移した場合、平年より4日遅い予想**。
- 気温の影響等により、茎数、葉齢等の生育量は平年より多い。
- 今後の管理として、茎立期前まで**麦踏み**を行うとともに**排水対策**を実施する。

1. ニューサチホゴールデンの茎立期予測

本年産の農研センター本場(宇都宮市)におけるニューサチホゴールデンの茎立期(2月20日現在、令和6年11月8日播種)について、本品種の過去の幼穂長や茎立期、茎立期までの積算温度との相関関係から予測した。その結果、今後**気温が平年並に推移した場合は平年より4日遅い3月19日**、平年+1℃の場合は3月16日(平年+1日)、平年+2℃の場合は3月13日(平年-2日)、平年-1℃の場合は3月22日(平年+7日)と予測された。

表1. 農研センター本場(宇都宮市)におけるニューサチホゴールデンの茎立期予測(2/20現在、11月8日播種)

今後の気温	茎立期予測日	平年 ^{注1} 差
平年-1℃	3月22日	+7日
平年並推移	3月19日	+4日
平年+1℃	3月16日	+1日
平年+2℃	3月13日	-2日

注1. 茎立期予測は、ニューサチホゴールデンの9年間の累積データを用いて実施した。

注2. 茎立期平年値：3月15日(令和5年度を除く平成25年から令和4年度までの9年間の平均値)。

2. 前回調査から今回調査までの気象概況(2月6日～2月19日)

宇都宮市の平均気温は平年より低めに推移し3.4℃(平年差-0.2℃)であった。降水量は0mm(平年比0%)と少なく、日照時間は平年と同程度であった(平年比126%)。

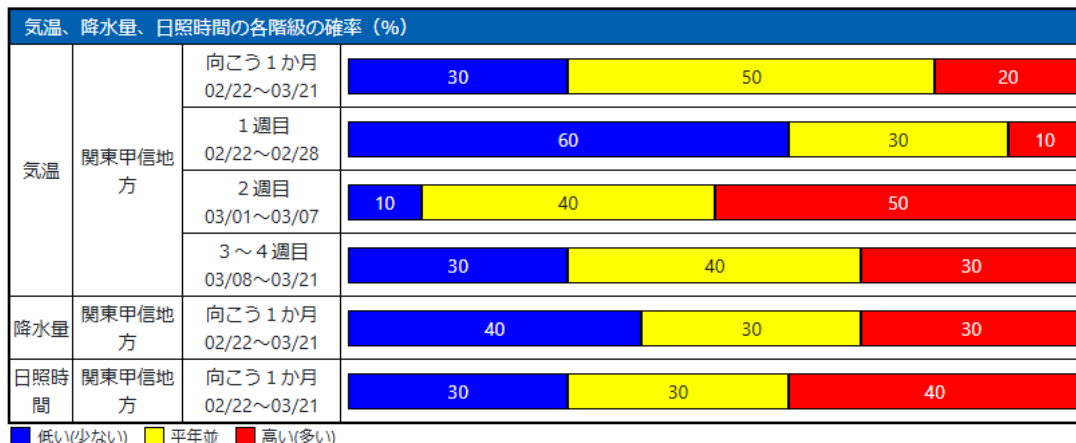
3. 2月20日の生育概況 農研センター本場(宇都宮市)

農研センター本場(宇都宮市)のニューサチホゴールデンの草丈は平年比97%とほぼ平年並、茎数は平年比194%とかなり多く、葉齢は平年より0.9枚多かった。葉色値(SPAD)は平年比107%とやや高く、正規化植生指数(NDVI)は平年比94%とやや低かった。幼穂長は平年比71%、幼穂長は平年比87%といずれも短く、幼穂分化程度は「IX中期～IX後期」の段階であった。

4. 今後の気象動向（気象庁季節予報令和7年2月20日発表より引用）

●天候：平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

- ・平均気温：平年並の確率 50%。
- ・降水量：平年より少ない確率が 40 %
- ・日照時間：平年より多い確率が 40 %



【耕種概要等】

供試品種：ニューサチホゴールデン、シュンライ、さとのそら

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齢、葉色、NDVI)

抜取調査(幼穂長、幼穂長、幼穂分化程度)

播種期：令和6年11月8日（前年11月16日・平年11月6日）、11月19日（ニューサチホゴールデンのみ）

播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m²設定（10aあたり約9.5kg）

土壌分類：表層多腐植質黒ボク土

施肥：

	施肥量(kg/10a)					
	N	P	K			
基肥	5.0	6.4	5.0	BB ビール麦エース	14-18-14	35.7kg/10a

※前作は水稻青刈りすき込み、堆肥1.0t/10aを施用

※重焼燐2号280kg/10a、塩化加里20kg/10aを施用

※2月20日現在、追肥は行っていない

踏圧 11月8日播種区：12月6日、12月25日、1月10日、1月27日

11月19日播種区：1月10日

5. 今後の管理

1) 踏圧（麦踏み）

過剰生育や早期茎立ちを抑えるために、茎立期前までに踏圧を実施する。

踏圧目安：2.5 葉期以降～茎立期前の期間

踏圧回数：今後、茎立期直前までに1～2回程度実施

踏圧間隔：2週間以上

※茎立期：幼穂長が2 cm を超え、茎が起立し始めるとき

ほ場が高水分状態での踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う（目安として靴に土がつかない程度）。

踏圧の効果

- ・生育をそろえる
- ・過剰生育を抑制する
- ・分けつを旺盛にする
- ・根張りをよくする
- ・凍上害を防止する
- ・耐寒性を増大する
- ・倒伏を防止する



写真1 踏圧（麦踏み）の様子

2) 排水対策

今後の1か月予報では、降水量は平年より少ない確率が40 %と予想されているが、まだ明きよを整備していない圃場では速やかに整備を行う。また、整備した圃場でも明きよの点検を行う。

■整備のポイント■

① 明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。

② 溝が土や泥等で埋まっていない。
(埋まっていたらさう)。

このような排水対策の実施により、
降雨・降雪後のほ場の乾燥を促し、
計画的な踏圧が可能となる。

※適切な排水対策により、降雨後でもほ場が
乾きやすく、早い時期に踏圧ができる



写真2 排水溝に接続されている明きよ

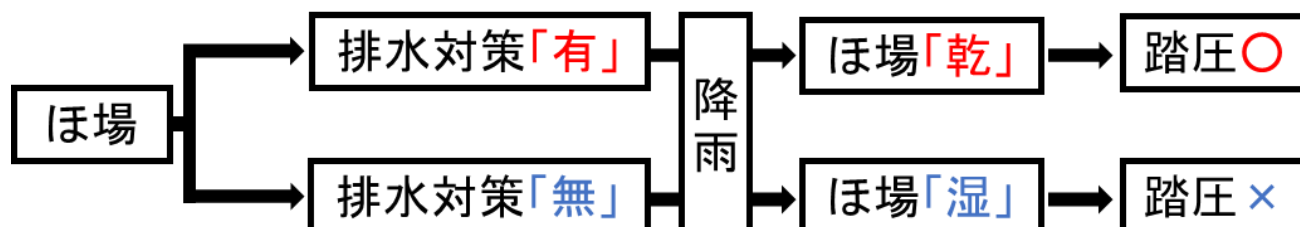


表 2. 調査結果

農研センター本場（宇都宮市）における生育概況

品種名	年度	草丈	茎数	葉齢	葉色	正規化 植生指数	幼穂長	幼穂長	幼穂 分化程度
		cm	本/m ²		SPAD	NDVI	mm	mm	
ニューサチホ ゴールデン (11/8 播種区)	本年	13.6	2745	7.3	43.5	0.46	3.6	1.9	8.3
	平年	14.0	1418	6.5	40.7	0.49	5.0	2.2	7.8
	平年比・差	97%	194%	+0.9	107%	94%	71%	87%	0.6
	(参考) 前年	13.8	1777	6.9	42.8	0.60	3.1	2.0	7.1
ニューサチホ ゴールデン (11/19 播種区)	本年	10.2	1233	5.4	47.6	0.35	1.8	1.2	6.9
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年比・差	-	-	-	-	-	-	-	-
	(参考) 前年	-	-	-	-	-	-	-	-
シュンライ	本年	9.1	1895	6.3	46.1	0.49	2.5	1.3	7.1
	平年	10.0	1047.3	5.9	46.9	0.5	3.3	1.4	6.2
	平年比・差	92%	181%	+0.4	98%	95%	78%	93%	0.9
	(参考) 前年	9.7	1439	6.5	47.0	0.59	2.5	1.3	5.9
さとのそら	本年	10.4	1890	7.1	41.8	0.46	1.9	0.7	3.0
	平年	12.1	1475.7	6.7	48.0	0.5	3.2	0.9	3.7
	平年比・差	86%	128%	+0.4	87%	83%	59%	79%	-0.7
	(参考) 前年	11.0	1614	6.9	47.1	0.59	2.6	0.7	2.8

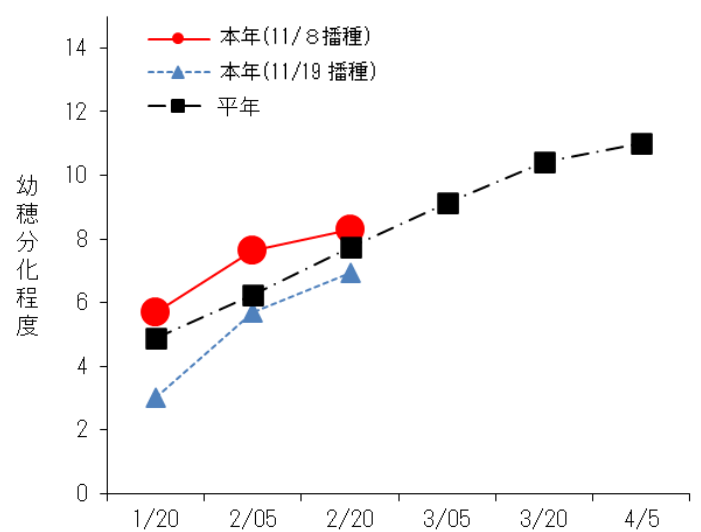
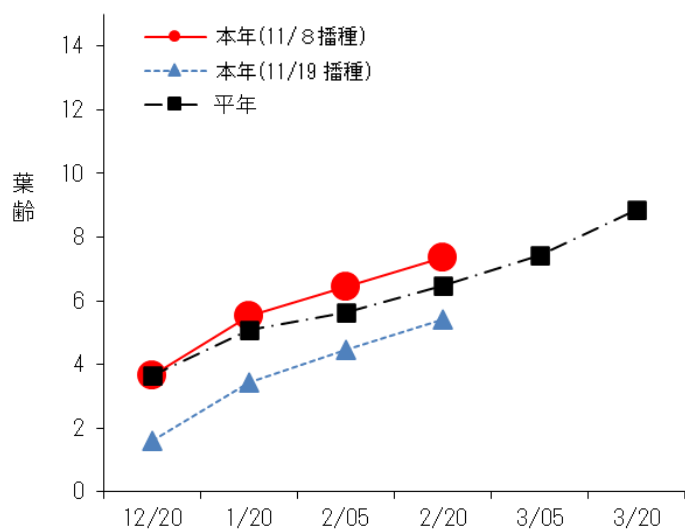
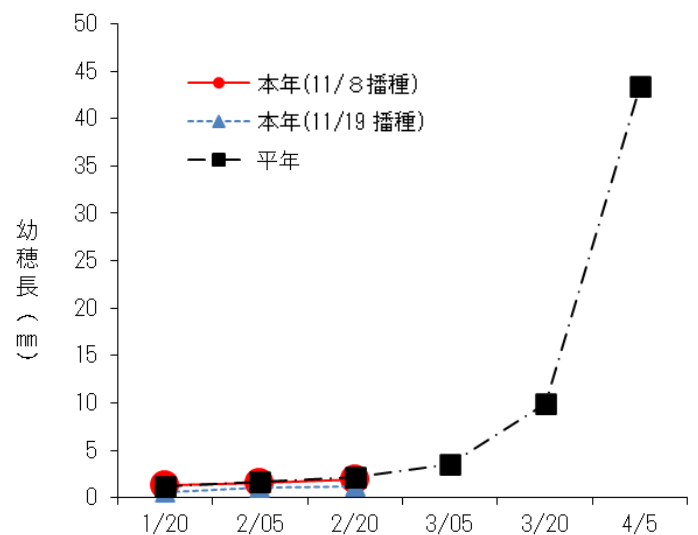
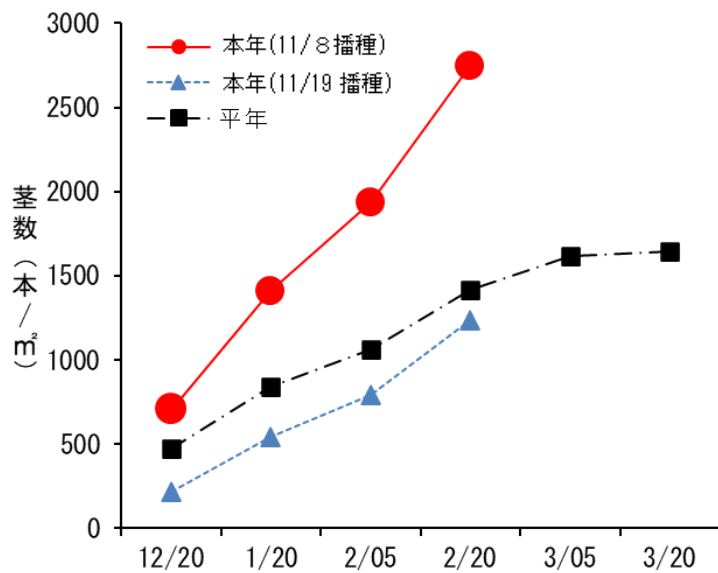
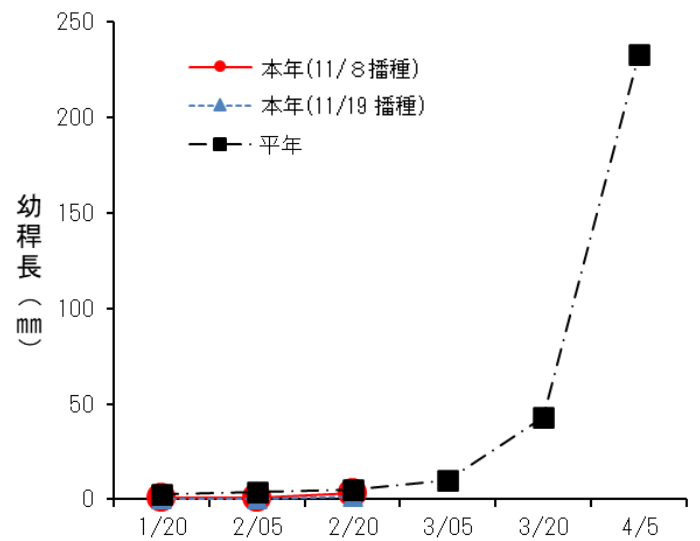
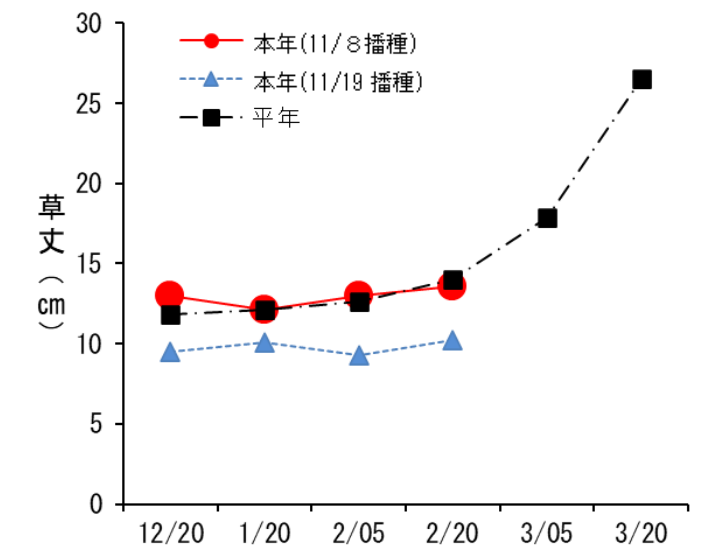
注) NDVI: 植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの。

注) 小数点以下第 2 位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある。

※平年値: ニューサチホゴールデン(11/8 播種区)は平成 25 年～令和 4 年度(10 年間)の平均値。その内 NDVI は平成 29 年～令和 4 年度(6 年間)の平均値、ニューサチホゴールデン(11/19 播種区)は初年度のため平年値はなし。シュンライ、さとのそらは令和元年～令和 4 年度(4 年間)の平均値。

※令和 5 年度は参考値(播種が平年より 10 日遅れたため、平年値から除く)。

【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農研センター本場）】



【気象概況】

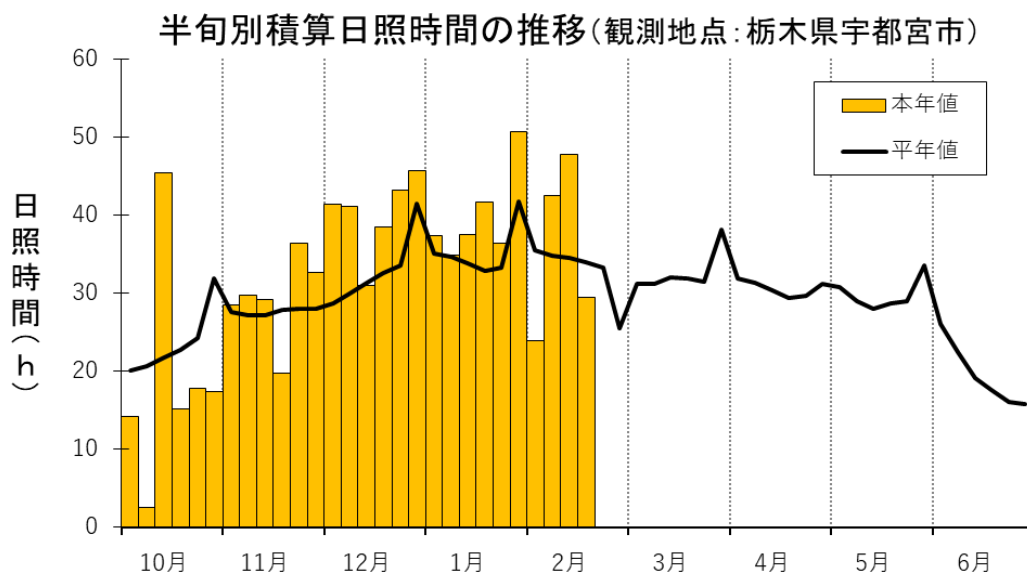
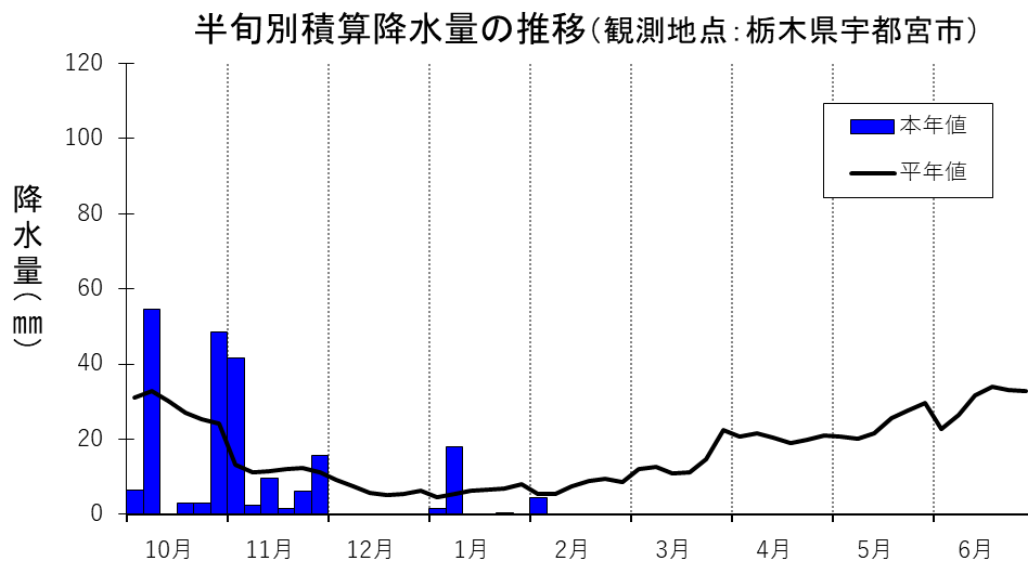
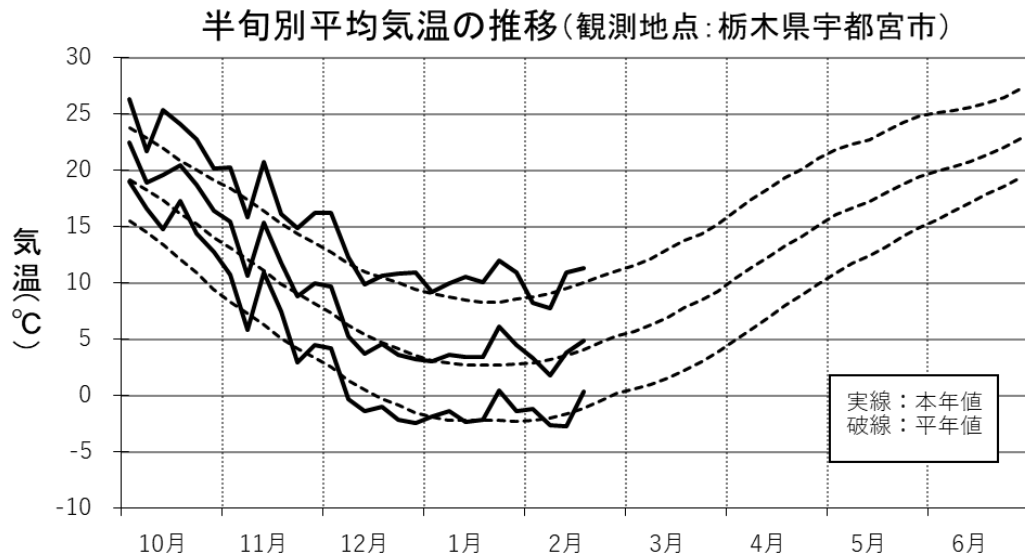




写真3 ニューサチホゴールドの生育状況
農研センター本場 2024年11月8日播種 2025年2月20日撮影



写真4 ニューサチホゴールドの生育状況
農研センター本場 2024年11月19日播種 2025年2月20日撮影